各種会計を徹底検証

～令和7年度　決算調査～

令和7年度の決算調査は、9月7日～9日の3日間、各常任委員会に分かれて開催されました。各分野の決算を徹底調査し、これからの行政運営を執行するうえで、貴重な討論が交わされました。

※議長・監査委員は出席しません

総務経済常任委員会　9月7日・8日

総務経済常任委員会所管課
総務課・税務課・財政課・出納室・企画空港課・都市建設課・未来づくり課・産業課・農業委員会・環境防災課・食肉センター

【側溝清掃作業委託】

Q 川島富士子議員
側溝清掃の作業委託とは

A 都市建設課
町道H173号線で、光楽園老人ホームの前のしおさい道路になります。大型



側溝でボランティアでは蓋が開けられないところで、土が堆積して水が流れないと地区から要望があり、町がバキュームで吸い込む作業を業者委託しました。また、大型の側溝以外で生活排水を流しているようなところは、町内一日清掃などでご協力いただければと思います。

【基金増額の考えは】

Q 市原成一議員
近年、基金残高が減少傾向にあります。今後は公共施設の建て替え時期を迎えるなど、更に財政需要が増大するものと予測します。これらに備え基金を増額する考えはありますか。

A 財政課
基金は少しでも増額したいとの考えは持っています。また、現有基金も、利率の有利なものを選択し運用に努めています。併せて今後の予算編成ではスクラップ&ビルドの考え方により、一層の歳出抑制に努めてまいります。

【道路改良事業】

Q 宮薗博香議員
道路改良事業については、関係課等とも十分協議をしたうえで、早期に完成できるように頑張っていただきたい。特に、町道Ⅱ－10号線（下町踏切を横断し、1号線へ南下する町道）は、通学路でありながら非常に危険な状況にありますので、早期に改善をしていく必要があると思います。

A 都市建設課
只今のご意見を踏まえた対応をしていきたいと思います。また、町道Ⅱ－10号線につきましては、ＪＲと協議を行い、令和12年度から踏切の設計に入ると回答をいただいておりますので、完成予定時期は概ね5年ほど延びると認識していただければと思います。

【横芝光ＩＣ周辺産業用地】

Q 森川貴恵議員
横芝光ＩＣ周辺産業用地に事業所立地を検討している企業5社の今後進展の可能性は

A 未来づくり課
企業進出には地下水の利用が必須、またハザードについてリスクが少ないことを求められています。そのため、まず今年度補正でハザード調査を行い、地下水調査についても今後実施する必要があると考えています。

【町道Ⅰ－8号線】

Q 森川貴恵議員
町道Ⅰ－8号線と県道が交わる点に信号機は

A 都市建設課
信号機がない交差点として整備を進めています。



総務経済常任委員会

民生文教常任委員会　9月9日

民生文教常任委員会所管課
健康こども課・福祉課・住民課・東陽病院・教育課・社会文化課

【新たな居住者獲得事業】

Q霞浩子議員

新たな居住者獲得事業、1，000万円強で実施していますが、具体的にどのような取り組みがあったかをご説明ください。

A企画空港課

駅北やインターチェンジ、こどもの国跡地の整備、また、特色ある教育カリキュラムの展開として、英語教育に特色あるプログラムを展開しようということで、委託事業者の支援をいただきながら、教育委員会も含めて検討しているところであります。また、海・川の魅力を活かしたイベントの実施について、来年度の実行に向けて検討しているところであります。



【オンライン学習サービス負担金】

Q森大地議員

オンライン学習サービス負担金のUdemy Businessの具体的な活用について

A企画空港課

オンライン学習サービスUdemy Businessはデジタル推進室の発足時からDXを推進するため、職員のDXに関する能力を高め、人材を育成する方針から令和6年度から開始しております。パソコン上の様々なツールと多岐にわたる業務を連携させどのように業務の効率化を図れるか、といった講座が多数あり、対象職員が受講しています。



【東陽病院人間ドック受診件数】

Q鈴木唯夫議員

東陽病院の人間ドック受診件数を増やすための方策は

A東陽病院

人間ドック待機部屋を3階にある2部屋を使用していましたが、院内移動の不便、待機する部屋構造の問題で場合によっては2名の受診しか出来ない制限等がありました。このことから、1階に人間ドック待機ルームを整備し、1日3名の受診が可能となりました。予約人数枠が2名から3名に増え、各種検査室へのアクセスが格段に向上しました。今後、PRなどを実施しながら、受診者増加に努めます。

【介護保険料】

Q山﨑義貞議員

介護保険料は年金受給額が少額の場合は年金から引かれずに普通徴収になり、結果滞納となってしまう。収入の少ない人が介護保険を利用できなくなってしまうのではないか。

A福祉課

国民健康保険税や他の税金等と同様に、それぞれ個別に分割納付等の相談に応じ、なるべくペナルティーを適用しないで済むよう考えております。

【国保会計】

Q秋鹿幹夫議員

特定健診受診率向上事業はどの様な取り組みか。またこの事業に対する交付金は入っているか。

A住民課

AIで分析を行い、個人の特性に合った6種類の内容のはがきを2回送り、受診率の向上を図るものです。財源については100%が交付金の対象です。

要望 秋鹿幹夫議員

国保会計は一般会計からの繰り入れも行っているが、依然として厳しい状況です。出来るだけ交付金を活用した事業で効果を上げて貰いたい。


民生文教常任委員会

【シルバー人材センター活動支援事業】

Q 印東彦治議員

運営費補助金が５００万円で、加算分１２０万円を含め６２０万円の補助金を町から支出していますが、どのような理由で支出されているのか。

A 福祉課

運営費補助金５００万円の理由ですが、国の制度における基準がＡ・Ｂ・Ｃにランク付けされています。当町のシルバー人材センターは「Ｂランク」に該当するため、その基準に基づき運営費として５００万円を支出しております。また、１２０万円の補助金につきましては、高齢者活用、現役世代雇用サポート事業分のデジタル利用促進事業補助として１２０万円を支出しております。



【特別教育支援員の配置】

Q 内田美穂議員

特別教育支援員の配置に関し、予算では18名で計上されているが、決算では前年度と比較して１名増えているものの17名となっている。１名増えた背景とその効果、また17名となった理由は。

A 教育課

学校からの配置要請があり１名増やした。特別な支援を必要とする児童生徒へ必要なサポートをすることで先生方の支援にもなっている。17名にとなった理由は人材を確保できなかったため。



山武郡市議会議員研修会

2026 7/24 Fri

山武市成東文化会館「のぎくプラザ」にて、第60回山武郡市議会議員研修会が開催され、自治体議会研究所の髙沖秀宣氏を講師にお招きし、「議員力と議会力」をテーマに講演を拝聴しました。

講演では、議員一人ひとりが住民の声を的確に捉え、政策課題を見いだし、調査・研究を重ねながら政策提言につなげていく『議員力』についての認識は高いが、これに繋がる政策立案を過半数の議員間で議論を深め、議会全体として政策形成機能を高めて政策実現に向け活動する『議会力』が低いので、強化していく事が必要である。そのためには議会基本条例や政治倫理条例を制定し議員の資質向上に努めるべきとの事でした。



また、議会は単なる議決機関ではなく、憲法に定められているとおり、議案の審議、熟議を行う機関であり、こういった意識が低いと、議会の空洞化を招くというお話もあり、意識改革の重要性についても学びました。



今回の研修を通じ、議員として常に研鑽を重ねるとともに、議会としての役割と責任を改めて認識しました。今後も住民の皆さまの声を大切にし、より信頼される議会を目指して活動してまいります。